



ピロティに感謝

九州北部が梅雨入りしたようです。これからジメジメした日が続くのでしょうか。湿気が多いときは早めにクーラーを入れたいと思います。実はすでに試運転と称して何度か入れてみました。

さて、雨が降ると当然子どもたちは傘をさして登校します。どこの学校でも朝の昇降口は傘をたたむ子でごったがえしています。ところが、北小には「ピロティ」があります。子どもたちは傘をさして登校し、ピロティに入ってゆっくり傘をたたみ、混雑することもなく、普段通りに昇降口を通過していきます。

北小には当たり前のようにある「ピロティ」。雨や雪の日には、子どもたちのために役立っています。ピロティに感謝です。

身の周りには「当たり前」が多く、普段はその役割に気づかないものもたくさんあるのではないかと思います。「当たり前」にも感謝できる人になれると素敵ですね。



なかよし会の工事(パート2)

以前の北小だよりでなかよし会の増設工事についてお知らせしていました。周りがフェンスでおおわれていて、中の様子がとっても気になったので、3階の音楽室の窓からのぞいてみました。

フェンスの中は、写真のように基礎ができています。これから基礎の上に新しいなかよし会が建てられていくのでしょうか。

どんななかよし会になるのか余計に楽しみになりました。次回の報告をお楽しみに。



校長のひとこと

鳥栖の商業施設で事件が起こった翌日のことです。ほとんどの子どもたちが登校し、遅れて登校する子どもたちを待っていたところ、保護者の方とお会いしました。「昨日の事件、マチコミで見ました。」「一人で登校する子どももいるので、ちょっと見回りをしてみました。」とのこと。その言葉を聞いて、子どもたちはたくさんの方々に見守られているのだなと思いました。子どもたちは保護者の皆様、地域のみなさまのおかげで安心して学校に通えます。ありがとうございます。